

○R側過給機の軸固着に関する調査状況

- ✓ R側タービンブレードの疲労破損の要因について、材料、設計条件、加工不良、組立不良、外的要因の観点から調査を実施。
- ✓ 加工不良の調査において、タービンブレードレーシングワイヤの孔の高さが設計図面と比較して違いがあること、また、外的要因の調査において、タービンロータファツリー部の寸法が設計図面と比較して変化していることを確認。
- ✓ また、組立不良の調査において、過去の点検時に実施したタービンブレードの取外/取付に際して、ファツリー部の形状に影響を及ぼした可能性があることを確認。
- ✓ 上記の形状的な変化が重畳して作用した場合、タービンブレードファツリー部の応力が高まり、疲労破損に至る要因となり得ることから、外的要因（ファツリー部の形状測定・3D計測）に関する追加調査を継続。
- ✓ なお、材料、設計条件の調査は終了し、疲労破損の要因とはならないものと整理。

○原因・対策の報告時期について

- ✓ 外的要因の追加調査が2月中旬に及ぶこと、また、追加調査結果を踏まえた事象発生メカニズム、対策及び水平展開の検討工程を踏まえ、原因・対策の報告時期を「2月下旬」に見直す。